

～ カラスによる散らかし被害を防止し地域の美観と清潔な環境を保つ ～

クリーンセンター業務課

1 ごみ出しのマナーを守りましょう

- ① ごみ袋は、透明または半透明のものを使用してください。
- ② ごみは種類、収集日を守って当日の午前8時までに出してください。

市ではカラス対策として燃やすごみについては、午前中に収集を行うようにしています。また、カラスの嫌う辛み成分カプサイシン入りのごみネットを貸与しています。

カラス対策には、まず、ごみ出しのマナーを守ることが大切です。特に、決められた曜日の朝8時までに出すことを守らず、前夜から出したり、ごみ収集後に出したりするとカラス等にごみを荒らされてしまう原因になります。

2 カプサイシン入りのごみネットの貸与について

- ① ネットの貸与を希望される方は、ごみステーションを利用されている方の中から代表者を決めていただき、申請書をクリーンセンター業務課まで提出してください。
- ② ネットの貸与枚数は1つのごみステーションに1枚です。ただし、ごみステーションを利用している世帯数が14世帯を超える場合は、14世帯につき1枚追加して貸与します。
- ③ 貸与期間は3年です。3年を経過した場合は、交換できます。古いネットを添えて改めて申請手続きをしてください。

3 カラスを寄せ付けないカラス対策ネットの使い方

<ごみをネットの上に置かないようにしましょう>



対策 ○ごみネットの中にごみをきちんと入れて覆う

<ネットで覆いきりましょう>

ネットで覆いきれていません



対策 ○ネットを二重にかける
○ 2つのネットをつなぎ合わせて完全に覆う

<穴が開いたネットは使わないようにしましょう>
ネットに穴が開いています



対策 ○穴の開いていないネットを使う
○穴を繕う

<ネットの下にすき間を作らない>
ネットの下にすき間があります



対策 ○重石等を使ってすき間ができないようにする

<ごみ量が多いため、ネットで覆いきれません>



- 対策
- ごみを横に並べてネットを数枚かける
 - ネットをつなぎ合わせて完全に覆う

<集合住宅等でよく見られる事例>
ネットをきちんとかけていません



- 対策
- 突っ張り棒等を利用して、ステーションにすき間が出来ないようにする。

4 最後に

私たちが毎日の生活で排出するごみの中でカラスが最も狙うのは、カラスにとって栄養価の高い餌である燃やすごみです。燃やすごみを少しでも減らす取り組みが、地道ではありますがカラス対策につながります。皆様のご協力をお願いいたします。